# UPKIオープンドメイン証明書自動発行検証プロジェクト（旧・UPKIサーバ証明書プロジェクト）平成26年度末アンケート調査

【機関に関する情報】

## １．貴機関の名称，本調査票に関するお問い合わせ先を記入してください。

機関名　　　　　　　　　

担当者名　　　　　　　　

メールアドレス　　　　　

【確認実施手順に関する調査】

## ２．旧プロジェクト参加時にご提出いただいた「確認実施手順調査票」，および前回調査（2013年5月～6月）までにご提出いただいた変更点を，最終的な確認実施手順と比較していただき，変更の有無についてご回答ください。





【加入者の本人性確認】

## ３．「加入者の本人性確認」手順について、前回調査時からの変更の有無についてご回答ください。





## ４．変更されている場合は，「どのような情報」をもとに，「どのような方法で」確認することにしたのか，変更内容を記述してください。



## ５．変更された理由について教えてください。



【加入者の実在性確認】

## ６．「加入者の実在性確認」手順について，前回調査時からの変更の有無についてご回答ください。





## ７．変更されている場合は，「どのような情報」をもとに，「どのような方法で」確認することにしたのか，変更内容を記述してください。



## ８．変更された理由について教えてください。



【加入者サーバの管理責任確認】

## ９．「加入者サーバの管理責任確認」手順について，前回調査時からの変更の有無についてご回答ください。





## １０．変更されている場合は，「どのような情報」をもとに，「どのような方法で」確認することにしたのか，変更内容を記述してください。



## １１．変更された理由について教えてください。



【ドメインの実在性確認】

## １２．｢ドメイン（サーバのFQDN）の実在性確認｣手順について，前回調査時からの変更の有無についてご回答ください。





## １３．変更されている場合は，｢どのような情報｣をもとに，「どのような方法で」確認することにしたのか，変更内容を記述してください。



## １４．変更された理由について教えてください。



【確認実施手順に関する調査】

## １５．機関内部において実施していた確認実施手順についてどのようにお考えですか？　機関内で実施するにあたり，審査基準として厳しいものであるか否かでご回答ください。









## １６．審査項目のうち，厳しい基準で実施されていたと思うものはどれですか（複数回答可）

　加入者の本人性確認

　加入者の実在性確認

　加入者サーバの管理責任確認

　ドメインの実在性確認

　その他（具体的にお書きください）



## １７．審査項目のうち，甘い基準で実施されていたと思うものはどれですか（複数回答可）

　加入者の本人性確認

　加入者の実在性確認

　加入者サーバの管理責任確認

　ドメインの実在性確認

　その他（具体的にお書きください）



１８．問16および問17で，｢厳しい｣または｢甘い｣とご回答いただいた理由を具体的に教えてください。



１９．問15から問18について，問題点を改善するには，どのような工夫が必要であったと考えられますか？

（新サービスへの移行を機に実際に改善したことも含む）



【旧UPKIプロジェクトに関して】

２０．本プロジェクトに参加した理由について，該当するものをチェックしてください。

　機関のサーバ証明書不足を解決したかったため

　サーバ証明書が無償で発行されるため

　（学内認証局や独自認証局など）プライベート証明書をパブリックな証明書に切り換え

たかったため

　（コスト以外の点について）商用認証局よりもNIIの認証局のほうが良いと思うため

　学認で利用するため

　その他



２１．本プロジェクトに参加することで得られた効果があればご記入ください。



２２．本プロジェクトに参加したことに関して，貴機関内部で特筆すべき問題は発生しましたか？





２３．貴機関内部で特筆すべき問題が発生していた場合，その問題について教えてください。



２４．どのような方法でその問題を解決されましたか，教えてください。（未解決の場合は未解決と記入してください）



２５．UPKIプロジェクト以外の証明書発行サービス（民間企業による有償のサービスを含む）と比較して，良い点・悪い点がございましたら，記入してください。



２６．UPKIプロジェクト参加後の機関内におけるサーバ証明書の使用数の増減をお答えください。









２７．UPKIプロジェクトで発行された証明書の用途をお答えください。(複数回答可)

　Webサーバ(学内外向けWebサイト，ポータルサイトなど)

　Webサービス(Shibboleth SP，事務用Webアプリケーション，  
研究室などで使用する各種システムなど)

　認証システム関連(Shibboleth IdPなど)

　メールサーバ(大学公式のもの，学部・学科・研究室単位のものなど)

　教員研究用(研究のために構築した各種サーバなど)

　学生研究用(卒業研究・修士および博士研究のために構築した各種サーバなど)

　その他



２８．UPKIプロジェクトに参加したことにより，機関の構成員が情報通信全般の安全性に対して留意する機会が増えたと思いますか。









２９．前項に質問において，どうしてそう答えたのか自由記述でお答えください。

　　　※特に，情報通信の安全性等について構成員に普及啓蒙活動などを行った場合は，  
その内容について記述していただければ幸いです。



アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。